



Sapporo Gakuin University

学園広報

2007.6.15 No.97

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
http://www.sgu.ac.jp

2008年度 入試制度 速報

六月十五日より

AO入試エントリー受付!

札幌学院大学は、二〇〇八年度入試試験より、経済学部を除く四学部七学科でアドミッション・テスト(入試)を導入することにしました。大学の理念、教育理念、学部学科の教育目標に基づいたアドミッション・ポリシー(求むべき学生像)に則り、社会で活躍できる資質を持った人材を積極的に受け入れていくことを目的としてスタートします。

【AO入試スケジュール】	
エントリー期間(6月15日~7月13日)	↓
第1回面談・授業体験・課題提示(7月29日)	↓
課題提出締切(8月31日)	↓
第2回面談・課題指導(9月30日)	↓
出願許可(10月5日)・出願期間(10月5日~12日)	↓
面接試験(10月20日)	↓
合格発表(10月30日)	

平成十九年度 入学式

平成十九年度入学式が四月三日、北海道厚生年金会館で行われ、大学院三研究科、五学部八学科で一、二二名が入学しました。

布施晶子学長は式辞で、学園創立以来、脈々と受け継がれている学生一人一人を尊ぶ学風について触れ、「すでに夢がある方は、その実現に向けて歩み始めて。まだ、決まっていない方は、大学における四年間、自分と向き合い、自分は何者か、どう生きたいのか、自分の夢は何か、ゆっくりと考えてください」と述べました。

入学式後、スペシャル・ゲストと紹介された同志社大学、神戸製鋼の花形選手として活躍されたラグビー元日本代表、大八木淳史氏から「世

断の結果を踏まえ、これからの四年間を有意義に過ごしてほしい」と新入生を激励。新入生代表として井戸向敏宏さん(人文学部英語英米文学科)から入学の決意が述べられました。

の中で絶対変えられないものがある。過去は絶対変えられない。変えようと思えばその瞬間から簡単に変わること、それは、未来自分がどう考え、どう動くかが大切。立派でなくていい、自分を社会に役立てるといふこの瞬間こそ貴重」と新入生へメッセージがありました。さらに、大八木氏は、本学ラグビー部

の約五カ月間についても、充実した入学前学習を用意し、高等学校と大学の学習の接続を図っていくことを計画しております。

六月月上旬にはAO入試ガイドを発行し、六月十五日よりエントリー受付を開始します。詳しくは、入試課までお問合せください。

大学院地域社会マネジメント研究科に入学した齊藤厳さんは今年七十六歳。国立短期大学を卒業し、退職後、本学商学部第二部に編入学。六十八歳で学士の資格を修得しました。

その後は本学社会連携センターで開講しているコミュニティ・カレッジで学んでいましたが、より深く学びたいという思いから、二年間の科目履修を経て、正式に入学となりました。今では、院生たちの飲み会もひとつの楽しみとなっているそうです。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。



入学式後、スペシャル・ゲストと紹介された同志社大学、神戸製鋼の花形選手として活躍されたラグビー元日本代表、大八木淳史氏から「世

を相手にタックルを披露。新入生は、熱いメッセージを受けとめました。

七十六歳「もっと学びたい」大学院地域社会マネジメント研究科に入学した齊藤厳さんは今年七十六歳。国立短期大学を卒業し、退職後、本学商学部第二部に編入学。六十八歳で学士の資格を修得しました。

その後は本学社会連携センターで開講しているコミュニティ・カレッジで学んでいましたが、より深く学びたいという思いから、二年間の科目履修を経て、正式に入学となりました。今では、院生たちの飲み会もひとつの楽しみとなっているそうです。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

友だちできた!不安が減った!学習の仕方が見えた!

新入生合宿オリエンテーション



今年で二十八年度を迎えた新入生合宿オリエンテーションが、四月六・七日の日程で定山溪温泉で全学部一斉に実施されました。商学部は他学部と先駆け、午前中に学部交流会を開催

クイズ大会、学内オリエンティングを実施し、リラックした雰囲気の中で、後半は履修登録を進めるため情報ポータル操作を情報処理課の協力を得て習得しました。意欲に溢れた修学プランを確立しようです。

経済学部は全体会のおと定山溪に向かい、クラス企画・学部交流会を終え、夕食後、社会で活躍するお二人のOBから講話をして頂きました。自身の学生生活を振り返り、新入生へ熱いメッセージを込めた講話は、新入生にインパクトを与え

フリーセッションなどに参加し、目的意識的な時間が過ごせたようでした。社会情報学部は「SGUオリエンティング」と題し、キャリア支援課、図書館などで作業をする企画を、新入生と学生実行委員が力にあわせて取り組みました。その後定山溪へ出発し、クラス企画・学部交流会、翌日のフリーセッションを通して新入生の友人づくりが進んだようです。

月程度に及びますが、学内容と目的意識が教員とのコミュニケーションの中でさらに深まり、充実した学生生活につながる第一歩となることを期待しています。また、合格発表から入学までの約五カ月間についても、充実した入学前学習を用意し、高等学校と大学の学習の接続を図っていくことを計画しております。

図書館では、学生の情報活用能力の向上を目指し、新入生ガイダンス、情報リテラシーガイダンス、ゼミガイダンスを実施しています。新入生ガイダンスは、全学部の基礎クラスを対象に、クラス毎に図書館に来て約二十分間のレクチャーと二十分間の図書ツアーを行うものです。初めて大学図書館に足を踏み入れた一年生は、膨大な蔵書量、DVDなどの視聴覚資料、オンラインデータベースなど、高校時代の図書室や公共図書館との違いに驚くと同時に、これから四年間のキャンパスライフを送るうえで、大変有効な施設であるという認識を新たにしました。

私立大学六四三校中、四十一位にランクされています。たようです。人文学部は四学科体制で実施。最初に北海道盲導犬協会の志田恭司副会長が「盲導犬とともに生きる」と題しSGUホールで講演しました。ボランティアへの関心など今後の学生生活への意欲を引き出す内容は、新入生に新たな刺激を与えたようです。会場を定山溪に移し、クラス企画、学部交流会と進むにつれ、緊張気味だった新入生にも次第に笑顔が広がりました。

法学部は最初にクラス企画を行い、履修と学生生活の計画を確立したのち、総合体育館に会場を移し、「クラス対抗綱引き」で交流を促し、定山溪へ出発しました。学部交流会や

フリーセッションなどに参加し、目的意識的な時間が過ごせたようでした。社会情報学部は「SGUオリエンティング」と題し、キャリア支援課、図書館などで作業をする企画を、新入生と学生実行委員が力にあわせて取り組みました。その後定山溪へ出発し、クラス企画・学部交流会、翌日のフリーセッションを通して新入生の友人づくりが進んだようです。

フリーセッションなどに参加し、目的意識的な時間が過ごせたようでした。社会情報学部は「SGUオリエンティング」と題し、キャリア支援課、図書館などで作業をする企画を、新入生と学生実行委員が力にあわせて取り組みました。その後定山溪へ出発し、クラス企画・学部交流会、翌日のフリーセッションを通して新入生の友人づくりが進んだようです。

新入生図書館ガイダンス



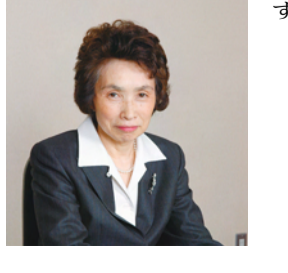
図書館では、学生の情報活用能力の向上を目指し、新入生ガイダンス、情報リテラシーガイダンス、ゼミガイダンスを実施しています。新入生ガイダンスは、全学部の基礎クラスを対象に、クラス毎に図書館に来て約二十分間のレクチャーと二十分間の図書ツアーを行うものです。初めて大学図書館に足を踏み入れた一年生は、膨大な蔵書量、DVDなどの視聴覚資料、オンラインデータベースなど、高校時代の図書室や公共図書館との違いに驚くと同時に、これから四年間のキャンパスライフを送るうえで、大変有効な施設であるという認識を新たにしました。

みかさシンポジウム 炭鉱遺産活用コンペで最優秀賞

大学院地域社会マネジメント研究科2年 里見 健司さん 菊地 覚さん

三月十七日、「炭鉱遺産を活用した、三笠市幾春別地区の観光計画」をテーマとする学生コンペが空知地方三笠市で開催され、本研究科チームが最優秀賞を得ることとなりました。学生コンペには札幌圏三大学一高専が参加し、約四カ月間の調査・制作期間を経て発表、住民(約六十名)の投票により結果を決めるものと実施可能を重視した内容となりました。

他校との差別化を図れた要因として、発表を①プラン②システム③プログラム④の構成とし、地域の体制と個々の役割、資金調達も踏まえた実施の手順まで、細かく提案したことが結果に繋がったと思います。今回の作業を通じ、現状を常時迅速に把握することの重要性、そして情報や方向性をチームの中で共有する作業の必要性を再確認しました。



布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

布施晶子学長の任期満了(平成十九年三月三十一日)に伴う次期学長候補選挙が昨年十二月十四日に行われ、布施晶子学長が再選されました。任期は平成十九年四月一日から平成二十二年三月三十一日までの三年間です。

教職員人事

◎任命
平成十九年四月一日付
学長 布施 晶子 再任
大学院法学研究科長 小杉 伸次 新任
商学部長 山本 純 新任
経済学部長 平澤 亨輔 新任
人文学部長 奥谷 浩一 新任
総合教育センター長 中村 永友 再任
教務部長 石川 千温 新任
学生部長 伊藤 雅康 再任
就職部長 佐藤 和洋 再任
広報入試部長 菅原 秀二 新任

◎採用
平成十九年四月一日付
田形 修一 教授 臨床心理学論
大垣 清美 教授 体育科指導法
横山 太範 教授 精神保健学
山越 康裕 講師 論述・作文
吉田 一弘 平成十九年四月七日付
キャリア支援課
◎昇任
平成十九年四月一日付
教授 三好 元
教授 富田 充保
教授 森 直久

◎退職
平成十九年三月三十一日付
藤永 弘 (教授)
廣川 和希 (教授)
池田 光幸 (教授)
鈴木 敬夫 (教授)
林 善之 (教授)
高須喜久男 (教授)
山崎 哲永 (助教)
祐成 保志 (助教)
荒尾 昭一 (教務部教務課)
岡田 輝子 (図書課)
尾村 久代 (図書課)
中村 英三 (管財課)
浦島 俊一 (キャリア支援課)

◎名誉教授称号授与
平成十九年四月一日付
藤永 弘
廣川 和希
鈴木 敬夫
林 善之

加藤 美穂子 講師 財政学
家田 愛子 教授
准教授 佐野 友泰

江別市社会福祉協議会との協働事業

新田ゼミナールでは、二〇〇五年度より江別市社会福祉協議会(以下、社協)との協働事業として「大学生参加の地域交流プランづくり」に取り組んでいます。昨年度は、江別市内の自治会が主体となって実施する「地域交流の集い」(以下、「集い」)に参加しました。「集い」とは、独居高齢者の見守り活動から派生した交流事業で、計画的に実施している自治会に対し協力が一定の助成を行うというものです。これにゼミ生が参加し、地域の方々とふれあいながら、そこでのような交流が行われているのか、運営する側はどのような背景と目的意識を持って取り組んでいるのか、また問題点や今後の課題など

協働事業の目的です。社協の仲立ちで四つの自治会にご協力いただき、一人の学生がそれぞれ担当を決め、六月中旬から参加しました。子どもたちも一緒に進んでいきました。おしゃべり講座、岩見沢バラ園へのバス旅行など、内容は各自自治会の方々が知恵を絞って計画されたもので、学生はその運営を手伝いつつ、一緒に進んでいきました。後期は参加を継続しつつ、学生たちが捉えた各自自治会

学生ボランティア事業

「報告書を札幌市教育委員会に提出」
学生ボランティア支援委員会により「二〇〇六年度学生ボランティア報告書」がまとめられ、三月に札幌市教育委員会に提出されました。この事業は、本学が札幌市教育委員会と提携し、札幌市内の小・中学校に派遣

札幌学院大学後援会 春季役員会開催

五月十九日、本学後援会(竹内恒之会長)の春季役員会が開催されました。会議に先立ち、新役員(二年生の保護者)を中心に建学記念館、図書館等のキャンパス見学が行われました。役員会は、まず、平成十九年度役員の選任を行い、新役員全員を含めて、学生の諸活動の支援を重点とする平成十九年度の事業計画と予算を承認し、会則の一部を改正しました。また、副会長の一人として新たに石川千温教務部長が選任されました。

役員会終了後、布施学長、杉山常務理事、杉本元学長ら大学関係者も参加して懇親会が行われました。学長から、大学の近況報告と後援会の援助に対するお礼があった後、新役員のお自己紹介、保護者役員と教職員・文庫会役員の懇談が和やかに行われました。

札幌学院大学小論文コンテスト

「わたしの大切なもの」
昨年引き続き、高校生の皆さんのエッセイを募集しています。詳細は、本学ホームページをご覧ください。札幌学院大学エッセイフォーラム事務局(進研アド内)011-209-0313までお問い合わせください。

や、生徒とのコミュニケーションをはかることの努力、生徒間の好ましい人間関係を築くことへの手助けに苦勞する姿が見られます。さらに、学生ボランティアがよりよく活動できるように支援していく工夫、小・中学校における役割の明確化等が今後の課題として挙げられています。

よりよい学生生活をめざして 『第8回学生生活実態調査報告書』が完成

四年に一度の学生生活全般の調査結果を掲載した「学生生活実態調査報告書」が、本学学生委員会の分析・検討を経て、三月に完成しました。調査は、昨年九月二十五日から十月十日の短い期間でしたが、初めて情報ポータルシステムを利用して実施され、ウェブ上で回答を求めたところ、八六・三%(前回四六・八%)と高い回答率になりました。自由記述欄に回答があった事項については、報告書完成前から担当部に資料提供が行われ、今後の学生生活支援や修学に対する改善・整備にむけての検討を始めています。



2006年度決算並びに2007年度予算

学校法人札幌学院大学の2006年度決算並びに2007年度補正予算は、2007年5月25日に開催された第175回理事会において承認され、同日の評議員会において報告了承されました。

2006年度決算の概要
帰属収入は、予算と比べ学生生徒等納付金、補助金、資産運用収入、事業収入(受託研究)、雑収入等で増加し、5,496,871千円となりました。学生生徒等納付金のうち新入生の授業料収入は入学金定員で予算計上しましたが入学者数が当初見込みより60余名多かったこと、過去の平均から算出した収納予想額を上まわったこと等から増加しました。入学金収入等を含む学生生徒等納付金は87,647千円の増加(実験実習料は微減)となりました。補助金の増加は経常費補助金71,739千円の増加(20.3%増)が主な要因です。なかでも経常費補助金の75%を占める一般補助で教職員福利厚生費(専任教職員の雇用保険料、非常勤教員の私学共済長期掛金、労災保険料、雇用保険料の新規)の拡充、調整係数表の改定、情報の積極的提供による加算等が大きく影響しております。前年度決算との比較でも一般補助、特別補助とも約3割増加しました。その他、研究設備整備費等補助金は3件、学術研究振興資金は3件の採択があり補助金の合計は78,512千円増の434,512千円となりました。しかし補助金比率は7.9%にとどまり全国平均に比べ低い水準にあります。資産運用収入は、国際交流基金、奨学金の運用、有価証券受取利息等により13,260千円の収入増となりました。事業収入は新規2件の受託事業を受け微増しました。

基本金については第2号基本金組入計画(新校舎建設)を見直し、組入れ期間を3年間延長、組入れ額を平成18年度から260,000千円に縮小する計画変更を行いました。その結果、基本金組入率は7.7%(前年度の半減、全国平均を8ポイント下回る)となりました。帰属収入から新校舎建設資金、図書等の基本金組入額424,622千円を差し引いた消費収入の合計は5,072,249千円となりました。

2006年度を財政再生元年とする方針のもとに経費削減に取り組んだ結果、消費支出は予算に比べて82,795千円減少し、4,851,205千円となりました。教育研究経費は、修繕費、賃借料、委託料、旅費交通費等の縮減により138,947千円減少しましたが、管理経費は、札幌ドーム・パルーン広告、学園創立60周年を記念して行われた高校生エッセイ・フォーラム(懸賞論文)、ホームページ・リニューアル等による広告費の増加、支払手数料等の増加等により29,875千円増となりました。人件費は、72,753千円増の2,955,753千円、帰属収入に占める割合は53.8%(5年で3.2ポイント増)に上昇しました。その結果、帰属収入の増加と経費支出の減少により消費収入超過額は221,044千円となりました。なお、自己資金の充実を示す自己資金構成比率は92.1%(全国平均87.2)、経営状況を示す帰属収支差額比率は11.7%(全国平均7.7)と良好です。

2007年度予算の概要

事業計画に基づき学園の課題に取り組み推進するための予算を計上しました。帰属収入は前年度予算より3.4%減の5,085,800千円を計上し、基本金組入額361,200千円を差し引いた消費収入の合計は前年度比2.7%減の4,724,600千円となります。2007年度新規事業として、入学金返還制度の新設(兄弟姉妹・父母が本学の在学生である場合並びに父母又は新入生本人が本学の同窓生である場合)、大学バスの導入、大学基準協会の加盟申請と認証評価の実施、入試制度の改革(AO入試等)その他を実施し教育研究体制の充実を図るとともに外部評価を実施します。消費支出は前年度予算より4.6%減の4,707,700千円となり、16,900千円の消費収入超過となっています。この結果、翌年度繰越消費収入超過額は1,419,174千円となります。

消費収支計算書

	2006年度決算	2007年度予算
学生生徒等納付金	4,510,647	4,383,100
手数料	70,422	67,000
寄付金	10,904	11,500
補助金	434,512	364,300
(内経常費補助金)	(424,539)	(351,200)
資産運用収入	177,660	179,200
資産売却差額	34,460	10,000
事業収入	1,425	100
雑収入	256,841	70,600
帰属収入合計	5,496,871	5,085,800

基本金組入額合計	△424,622	△361,200
消費収入の部 合計(ア)	5,072,249	4,724,600

人件費	2,955,753	2,804,700
(内退職給与引当金繰入額)	(152,220)	(71,700)
教育研究経費	1,464,053	1,497,100
(内減価償却額)	(455,523)	(426,700)
管理経費	422,875	373,400
(内減価償却額)	(59,295)	(57,800)
資産処分差額	8,524	7,500
徴収不能引当金繰入額	0	0
予備費		25,000
消費支出の部 合計(イ)	4,851,205	4,707,700

消費収入超過額又は消費支出超過額(ア-イ)	221,044	16,900
翌年度繰越消費収入超過額	1,402,274	1,419,174

資金収支計算書

	2006年度決算	2007年度予算
学生生徒等納付金収入	4,510,647	4,383,100
手数料収入	70,422	67,000
寄付金収入	3,650	6,700
補助金収入	434,512	364,300
資産運用収入	177,660	179,200
資産売却収入	3,174,799	1,210,000
事業収入	1,425	100
雑収入	256,841	70,600
借入金等収入	5,250	0
前受金収入	769,042	723,600
その他の収入	1,162,413	2,342,933
資金収入調整勘定	△980,771	△786,642
前年度繰越支払資金	1,758,848	2,002,378
収入の部合計	11,344,738	10,563,269

人件費支出	3,015,654	2,742,900
教育研究経費支出	1,008,530	1,070,400
管理経費支出	363,580	315,600
借入金等返済支出	9,600	12,000
施設関係支出	68,984	6,500
設備関係支出	137,559	102,700
資産運用支出	4,729,925	4,455,000
その他の支出	109,975	137,071
予備費		25,000
資金支出調整勘定	△101,447	△82,670
次年度繰越支払資金	2,002,378	1,778,768
支出の部合計	11,344,738	10,563,269

貸借対照表

資産の部	本年度末(2006年度末)	前年度末(2005年度末)	増減
固定資産	20,344,039	20,296,423	47,616
有形固定資産	13,144,177	13,452,749	△308,572
その他の固定資産	7,199,862	6,843,674	356,188
流動資産	8,350,706	7,789,500	561,206
資産の部合計	28,694,745	28,085,923	608,822

負債の部	本年度末(2006年度末)	前年度末(2005年度末)	増減
固定負債	1,292,174	1,358,525	△66,351
流動負債	963,928	934,421	29,507
小計	2,256,102	2,292,946	△36,844

基本金及び消費収支差額の部	本年度末	前年度末	増減
基本金	25,036,369	24,611,747	424,622
消費収支差額	1,402,274	1,181,230	221,044
小計	26,438,643	25,792,977	645,666
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計	28,694,745	28,085,923	608,822

東國大 東國大 東國大

韓国国際学術交流協定校・東國大(ソウル市)日本語文学科から、三年生の盧賢景さん(写真左)と金政慧さん(写真右)が、人文学部人間科学科に交換留学生として来学しました。

盧さんは白桦勲ゼミナールで考古学について、金さんは川合増太郎ゼミナールで日本文学について学んでいます。二人とも、韓国の大学にはない少人数で学ぶミニナールが大変魅力的だと話します。

大学一年生の時に京都を訪れた盧さんは、『源氏物語』や『枕草子』という平安文学を読んで日本史に興味を持ちました。本学を留学先に選んだのは、一年生の時に短期学生交流プログラムで渡韓した本学学生との出会い。昨年は盧さんが本学を訪れ、大勢の友人が出来たこと、何より先に留学した先輩たちの薦めもあったそうです。将来は作家になりたいという盧さんは、卒業後は大学院に進学し、知識を深めたいと思っています。本学ではよきソノラにサークルに所属、祭の本番で練習に励む毎日です。



金さんは高校二年生のころから日本語の勉強をしていました。が、きっかけは韓国で必ず教育課程で勉強しなければならぬという理由から、英語が嫌いだったから。何か他の言語を試し

韓国で必ず教育課程で勉強しなければならぬという理由から、英語が嫌いだったから。何か他の言語を試し

異文化に触れる、視野が広がる

札幌学院大学には、さまざまな形で異文化に触れる機会が用意されています。今回は、韓国の国際学術交流協定校である東國大から留学生と、中国人民大学に短期海外研修した学生を紹介します。

中国人民大学

中国短期語学研修に参加して

人文学部人間科学科四年 黒川 菜月

昨年夏、北京の中国人民大学に短期語学研修で四週間ほど滞在しました。北京空港に着いた時は、夜でしたが湿度が高く、暑い空気に圧迫されました。北京では、午前中はいろいろな国から来た留学生たちと授業を受けました。私のクラスには、日本人の他にフランス人や韓国人の学生がいて、休み時間にはカタコトの中国語やジェスチャーで会話をしたりしました。

午後、バスや地下鉄に乗って繁華街に出掛けたり、近所のスーパーへ行ったり大抵出掛けていました。スーパーでは、食品売り場で生きたスッポンが売っていたり、刺激的でした。



青島ビールで乾杯！(写真右が黒川さん)

ベトナムのお茶が甘かったり、トイレの使い方が違ったりと驚くこともありました。充実した毎日を送ることができ、よい思い出となりました。



旅行業務取扱管理者講座の授業風景

「エクステンションセンター講座」は、資格取得し、自己スキルアップの向上と就職活動を支援することを目的に課外講座を開講しています。

公務員試験対策、教員採用試験対策をはじめ、宅建資格、FP(ファイナンシャル・プランナー)資格、旅行業務資格、社会福祉士資格などの国家資格から医療事務、ホームヘルパー、簿記、販売士、パソコン(エクセル)まで、その努力が報われた。そしてその努力が報われた。そしてその努力が報われた。

エクステンションセンター講座

検定の合格率は全国平均と比較しても高い、などを挙げることが出来ます。学生の皆さんには、在学中に取得しよう!!

海外通信

バナアツ共和国見聞記 第一報

札幌学院大学客員教授 川口 孝太郎

三月二十六日早朝、栗山の仲間三十数名に見送られ、感動。そして翌日十七日、バナアツに到着しました。

ここは南国です。機外に出ると、南国と熱風が飛び込んできます。まさに猛暑。北海道から夏の東京へ出張した際これと同じような経験をしたことが、比較になりません。東京より太陽がグンと近いから、暑いと言ふより、じりじりと皮膚が焼ける感じです。

とうとうバナアツへやってきました。二期八年全力で働き、昨年四月退職しました。しかし気力も体力も自分の難関なのですね！私に



とつての問題は英語でした。道庁時代の三十代に、都市計画を学ぶためフランスへ一年間留学しましたので、英語よりフランス語の方が得意でした。しかし途上国からの都市計画の要望はすべて英語が必要だったので、それからというもの毎日、毎日五時間の英語の特訓で

「バナアツは手つかずの自然が残された景観の素晴らしいところだ」



写真右から伊坂理事長、中村教授、布施学長、平澤経済学部長

経済学部 中村永友教授 応用統計学会優秀論文賞の受賞により表彰される

経済学部中村永友教授・総合教育センター長が、学術教育センター長として「応用統計学」に発表した「欠損混合分布モデル」とその応用」が優れた論文として応用統計学会優秀論文賞を受賞しました。この受賞による大学への貢献を高く評価し、伊坂重孝理事長から賞状と記念品を授与しました。中村教授の論文は、「太陽から放出される複数のプラズマの塊を分離するための統計モデルを提案した。地球物理学の分野で画期的であり、統計学」

仲間として誇りに思います。負の言葉がありました。

「講演と音楽の夕べ」のご案内

旭川市民講座
2007年7月6日(金)午後6時30分開演
旭川市大雪クリスタルホール音楽堂
講演「拓銀破たんから10年を経て」
経済学部准教授 播磨谷浩三
音楽「チェロの名曲」
チェロ 土田 英順
ピアノ 林 絵里

第31回学術講演会
2007年11月22日(木)午後6時30分開演
札幌市教育文化会館大ホール

2007年度 公開講座			
講座名	商学部公開講座	人文学部公開講座	法学部公開講座
テーマ	北海道の先端経営から、明日の北海道を	ともに生きる知恵を探索する	激動する企業社会と経営法学
概要	今後、北海道が元気になるためには、先端的なビジネスを育成することが必要だと言われています。北海道内の各業界の方々から、その秘訣は何かについてお話をいただき、これからの北海道の産業について考えてみたいと思います。	現在の社会は、物質的経済生活は豊かになった反面、人間関係・社会関係の面では、亀裂・摩擦・対立・闘争という性格が強くなっています。なぜそうした事態が起こるのか、これからどうしたらよいかを一緒に考えます。	激動する社会経済状況の中で、実際に企業はいかなる活動をし、また、そのための法整備は用意されているのか。或いは経済活動をリードするべきものとなっているのかについて実務的・理論的側面から考えます。
日時	7月30日(月)~8月4日(土) 13時10分~16時20分	7月30日(月)~8月4日(土) 13時10分~16時20分	10月4日(木)~11月10日(木) 毎週木曜日(ただし、12月27日、1月3日を除く)13時10分~14時40分

札幌学院大学杯 ミニバスケットボール大会

四月八日、本学総合体育館で「第二回札幌学院大学杯ミニバスケットボール大会」が開催されました。

本大会は、第一回が学園創立六十周年と総合体育施設の完成を記念して開催され、今年も引き続き地域と大学との交流活動の一環として開催されたものです。

今大会には札幌圏の小学生ミニバスケットチーム、男女各八チームが参加しました。当日は選手、監督、父母



「皆が主役」ラグビー部
主将 商学部三年 西山 佳文さん

我がラグビー部は、昨年から人数不足で試合するのも困難な状況になってい

区、女子が福井野ミニバス少年団(札幌市西区)となりました。

本学バスケットボール部、文学部なども発達学科学生が大会運営に協力しました。

大会参加チームのシーズン大会の優勝は男子が稲積ミニバス少年団(札幌市手稲区)の健闘を期待しております。

待を裏切らないためにも、人数を集めて試合で結果を出し目標を達成しなければなりません。

ラグビーは背の大きな人、小さな人、体の大きい人などそれぞれポジションによってまったく異なります。それもラグビーの魅力ですが「All for One, One for All」という言葉があるように、みんなは一人のために、一人はみんなのためにという人が主役であるということです。ラグビーをみんなですることにより、お互いのプレーが予測できるほど信頼関係が深まると考えています。また、平成十八年度は、プロのラグビー選手とラグビークリニックを開かせていただきました。今年もゴールデンウィークから合宿をはじめ、試合に向けて調整していきたくと考えています。少しでもラグビー部・ラグビーに興味を持ってくださった方は一度活動に参加してみてください。



陸上競技部ソウルを駆け抜ける

韓国ソウルで三月四日に行われた第十回ソウル国際市民マラソン大会に陸上競技部から女子学生五名が参加全員が好タイムで完走しました。十キロでは上藤詩織さん(人文学部人間科学科二年)が優勝、ハーフでは村井ルミさん(人文学部英語英米文学科四年)が八位に入賞するという好成績を残しました。

今年、新たなスポーツの歴史が始まろうとしています。サッカーファミリーの競技種目のひとつ「フットサル」の全国リーグが九月二十三日に開幕するのです。そこで、今回はフットサルの日本代表候補で活躍されている本学サッカー部OB、神敬治さん(二〇〇三年三月、経済学部経済学卒業)を紹介いたします。

卒業生この人

神 敬治さん
シャークス立川所属

日本代表をめざして

撮影 勝又寛晃氏

彼は、実は初めてではありません。二〇〇一年一月、東京で行われた第六回全日本フットサル選手権に本学のサッカー部が出場し、惜しくも予選リーグで敗退したものの全国の強豪チームとの対戦を経験しました。

神さんは当時一年生でしたが、主力メンバーとしてこの大会に出場しています。彼にとってこれがフットサルを始めるきっかけでしたが、在学時は主に、サッカーを中心に活動していました(四年生のときには主将を務めています)。

彼がフットサルを本格的に始めたのは、大学卒業後となります。北海道のフットサルの強豪チーム、「ダイワスポーツ SFC」(現 Cortina de los NFC)に所属し、北海道代表選手と

相手は二勝一敗という成績を残しました。これは、記録には残っていても、みなさんの記憶にはないと思います。おそらく、フットサルという競技自体が「サッカー」と考えられていたことによるものと思われま

神さんは当時一年生でしたが、主力メンバーとしてこの大会に出場しています。彼にとってこれがフットサルを始めるきっかけでしたが、在学時は主に、サッカーを中心に活動していました(四年生のときには主将を務めています)。

彼がフットサルを本格的に始めたのは、大学卒業後となります。北海道のフットサルの強豪チーム、「ダイワスポーツ SFC」(現 Cortina de los NFC)に所属し、北海道代表選手と

今回は惜しくも「AFCフットサル選手権日本二〇〇七」(五月に大阪で開催)の日本代表メンバーからは漏れてしまいましたが、これから始まる全国リーグへの挑戦と、再び日本代表選抜を目指して今後の活躍を期待しております。

伊東知哉(一九九四年三月、法学部法律学卒業。サッカー部OB)

「フットサル」とは五人以下で構成されたフットサルの選手権大会です。海外遠征は三回目になりました。現地で二試合のトレーニングマッチをしましたが、その感想を次のように述べています。

「今回で日本代表候補の海外遠征は三回目になりました。現地で二試合のトレーニングマッチをしましたが、その感想を次のように述べています。

ゴール後は、互いに健康を喜び合い、ことばや国籍を超えてお互いの健闘を称え合っており、国際親善の一端を果しました。

自らの五キロを完走した陸上競技部顧問の笹岡征雄(人文学部教授)は、「世界的に盛んになっているマラソンに積極的に参加し、経験を積むことは、今後の成長に大きく役立つものと考えています」と話しています。

出発進行！ SGUオリジナルバス



今年度より大学オリジナルバスが道内を走り出します。大学で行われる各種行事での使用はもちろんのこと、道内で開催される学生のクラブやサークルの大会・遠征、ゼミ活動や授業での施設見学・調査実習での移動などに使用できることになりました。

バス全体には、札幌学院大学「SGUブルー」のカラーリングが施されています。バスのお披露目式は五月九日、大学三号館前で行われ、理事、学長、学生代表のテープカット。伊藤雅康学部長から活気ある学生生活へ向けて「SGUブルー」のクラッシュ。

2007・新入生歓迎 春の「文化祭」を初開催

四月、初めての試みとして春の文化祭を開催しました。今までは、サークルごとに活動を紹介していましたが、今年からは、劇団SONE SUNS、和太鼓会、軽音楽部、吹奏楽団、フォーク村、そしてYOSA KOIソーラン祭り、札幌学院大学・文京台の六つの文化系サークル合同の企画として行いました。

この文化祭に向け、我々は新入生や在学生に好印象を持って来てもらえるように、一生懸命練習をしてきました。魅力や思い、楽しさを伝えることは、ただ披露するだけでは伝わりません。よりよく見せるため、我々一人一人が楽しむという気持ちがとても大切であり、どんなときも忘れなかつたからこそ、よりよいものを、皆さんに伝えることができたのではないかと思います。多々、では一〇人以上の人が見に来てくれたり、昼休みが終わってからも、周りから色々と好評の声をいただきました。この企画を運営してきた我々にとって、とても嬉しいことです。

今回初めての取り組みで、祭りに札幌学院大学・文京台



「私の魂はカーリングに宿る」
小野寺歩さんが自叙伝出版

人文学部英語英米文学科を二〇〇一年に卒業した元カーリング女子日本代表チーム・スキップ、小野寺歩さんの自叙伝「カーリング魂」が三月に発売されました。テレビではわからないカーリング競技の奥深さ、日本を感動させたトリノでの有無、学園広報へのご意見・ご感想をお書きの上、069-1-4411-1111札幌学院大学広報課

躍してくれること、運行の安全を祈願して挨拶が行われました。歓迎のセレモニーとして和太鼓の演奏、チアリーダーの演技、吹奏楽部の演奏がありました。

このバスの利用は、大学の公式行事での使用が優先であり、また、使用に際しては使用料負担と使用制限があります。問い合わせ・申込みは学生課まで。

2007年度オープンキャンパス

2007年6月23日(土)
7月29日(日)
9月30日(日)
2008年3月22日(土)

いずれも 11時~16時

事前予約不要、無料送迎バスあり。詳しくはホームページで
<http://www.sgu.ac.jp/>

2007年度 保護者懇談会

二〇〇七年度の保護者懇談会(地方会場)は、七月七日(土)旭川(ロワジュールホテル旭川)、七月八日(日)北見(北見東急イン)、九月八日(土)青森(青森県労働福祉会館)、九月九日(日)仙台(ホテル仙台プラザ)で開催します。

当日は、全体説明と個別面談の二部構成で行います。全体説明では、学生生活、就職状況、成績表の見方等共通的な事項を説明いたします。

また、個別面談では、事前に学生と面談した結果と成績状況を踏まえて個別のケースに応じたご相談をいたします。

どうぞ、この機会に是非ご出席をいただきますようお願いいたします。

なお、十月二十日(土)には、本学において二・三年次生を対象に開催します。多数のご出席をお待ちしております。

喫煙防止教育の一層の強化を

施設内完全禁煙を二〇〇九年に控えて

学生課は、四月の全学年・化学プロジェクト」パンフを配布し、喫煙によって生じる健康被害の問題を強調しました。これは、学生の意識をより一層高めることを目的とした喫煙防止教育の一環として行ったものです。

本学は、二〇〇五年七月に「ノースモークキャンパス札幌学院大学宣言」を発表後、同年十月には大学の施設内を完全分煙とし、喫煙防止の教育の浸透を図ってきました。

二〇〇九年には施設内完全禁煙により、クリーンな学習環境の確立を目指しています。

カーリング魂。

トリン・オリンピックカーリング女子日本代表スキップ 小野寺歩

2006トリノオリンピックカーリング女子日本代表スキップ 小野寺歩